

ヒヤリハット報告書（患者関連）

NO.11

報告年月日 令和 年 月 日 報告者名:学年() 学籍番号() 氏名()		
1. 発生日時	令和 年 月 日 曜日 午前・午後 時 分	実習日数(日目)
	実習クール(クール目) 実習科目名()	実習病棟()
2. 種類 (複数チェック可)	1. 与薬(内服・外用) 2. チューブ管理 3. 機械・機器 5. 治療・処置 6. 手術 7. 検査 8. 誤嚥・誤飲 9. 食事関係 10. 転倒・転落 11. 熱傷・凍傷・入浴(清拭) 12. 抑制 13. 排泄 14. 患者観察・病態評価 15. 情報伝達・報告 16. 患者・家族への説明 17. 接遇 18. 紛失、破損 19. ルールに関する事 20. 個人情報に関する事 21. その他()	
3. 発生場所		
4. 患者情報	年齢(歳) 性別(男・女) 主病名()	入院病棟(病棟)
5. 発見者		6. 受傷部位
7. ヒヤリハットの発生状況、対応および経過(状況および自身の行動を時系列で記入する)		
時間	状況および自身の行動(思いや判断も含めて記入)	なぜ起こったのか
8. 発生後の対応		
9. 原因・誘因 (複数回答可)	1. 確認不足 2. 観察不足 3. 判断の誤り 4. 知識不足・誤り 5. 技術が未熟・誤り 6. 把握不足 7. 思いこみ 8. うっかり 9. 割り込み・中断 10. 伝達・コミュニケーション不足 11. 指示ミス 12. 説明不足 13. 指示受けミス 14. 接遇の不備 15. 患者環境整備の不備 16. ME 機器の不備 17. 施設・設備の不備 18. 手順通り行わなかった 19. その他()	
10. 発生時の状況	身体的状況:1. 健康 2. 疲労 3. 睡眠不足 4. 体調不良 5. その他() 精神状態:1. 普通 2. あせり 3. いらいら 4. 心配事あり 5. その他()	
11. レベル	0. 誤った行為が発生したが、患者には実施されなかった場合 1. 誤った行為を患者に実施したが結果として患者に影響を及ぼすに至らなかった 2. 行った医療又は管理により、患者に影響を与えた又は何らかの影響を与えた可能性がある 3 a. 行った医療又は管理により、本来必要でなかった簡単な治療や処置が必要になった	
12. 受けた指導内容		
13. 振り返りと 今後の改善策		

状況報告書 (物品管理等)

NO.11 - ②

報告年月日 令和 年 月 日 報告者名: 学年() 学籍番号() 氏名()		
1. 発生日時	令和 年 月 日 曜日 午前・午後 時 分	実習日数(日目)
	実習クール(クール目)	実習科目名() 実習病棟()
2. 種類 (複数チェック可)	1. 物品の破損、紛失 2. ルールに関する事 3. 物品の持ち帰り 4. 報告・連絡・相談に関する事 5. 個人情報に関する事 5. その他()	
3. 発生場所		
4. 発見者		
5. 発生状況、対応および経過 (状況および自身の行動を時系列で記入する)		
時間	状況および自身の行動 (思いや判断も含めて記入)	なぜ起こったのか
6. 発生後の対応		
7. 原因・誘因 (複数回答可)	1. 確認不足 2. 判断の誤り 3. 知識不足・誤り 4. 把握不足 5. 思いこみ 6. うっかり 7. 割り込み・中断 8. 伝達・コミュニケーション不足 9. 手順通り行わなかった 10. その他()	
8. 発生時の状況	身体的状況: 1. 健康 2. 疲労 3. 睡眠不足 4. 体調不良 5. その他() 精神状態: 1. 普通 2. あせり 3. いらいら 4. 心配事あり 5. その他()	
9. 受けた指導内容		
10. 振り返りと 今後の改善策		